

令和5年度
事業計画

社会福祉法人 南野育成園

【経営理念】

職員が楽しく働き、幸せを実感できる職場とする。
子どもの最善の利益を構築し、地域に貢献する。

【運営理念】

家庭で育つことができない子どもたちの心情に寄り添い、
「正直・勤勉・感謝」をモットーに自立した社会人としての成長を支えます。

【基本方針】

主役は子どもです

子どもが本来持っている成長する力に寄り添います。

地域とともに歩みます

地域への子育て支援や、活動に積極的に取り組みます。

職員もともに成長します

自らを高めながら子どもたちの心に届く支援を行います。

1. 運営目標

(1) 子どもの最善の利益のために

私たち職員の専門性とは、特別なものではなく日々の生活の中で五感を通して感じる感覚こそが、子どもとの信頼関係を築く原点です。そして、子どもたち一人ひとりの幸せを実現するという目標に向かって、職員がしっかりと連携します。

(2) 子どもの成長を信じる

日々の生活の中で、私たち職員は子どもの言動の奥にある想いをしっかりと受け止めます。子どもがきちんとすることではなく、子どもが子どもらしくあるという視点が持てているかを絶えず振り返りながら、子どもは必ず成長していくことを信じます。

(3) 豊かな感性を育む

子どもたちは、大人と過ごす時間の中で、目には見えない心と心のつながりを学んで成長していきます。本当に大切なものは子どもたちとの何気ない生活の中にあります。一緒に遊んだり食事をしたりすることが、子どもたちの心の中に原風景として残っていきます。そんな日々の積み重ねこそが、子どもたちや私たち職員の感性を豊かにしてくれます。

2. 重点項目

(職員アンケートより抜粋)

1. 社会的養育の推進に向けて

- ① 地域の実情を踏まえた上で、当園に合った地域小規模児童養護施設を目指す。
- ② 福祉制度やサービスについての知識を深める。
- ③ 卒園後を見据えた生活を意識しながら、日々の生活を丁寧に積み重ねていく。

2. 子どもの権利擁護

- ① 子どもたちの希望献立や意見をメニューに反映していく。
- ② 基本的には子ども発信の行事等の要望が実施できるように取り組む。
- ③ 生活の中で、子どもと一緒に子どもの権利について考えていく。

3. 自立に向けた支援

- ① 子ども対象の調理実習の機会を増やしていく。
- ② 子どもたちの習い事などへのチャレンジが増えるように柔軟に対応する。
- ③ しっかりとアルバイトに取り組むことで、社会経験を豊かにする。

4. 保護者・里親への支援

- ① 子どもの思いをしっかりと受け止め、保護者との交流を増やしていく。
- ② 里親制度への理解を深めるため、広報・啓発活動に力を入れる。
- ③ 保護者や里親との良好な関係を維持していく。

5. 人材の確保と育成

- ① 人事評価制度の浸透により人材育成につなげる。
- ② 引き続き実習生やボランティアを丁寧に指導し、人材の確保につなげていく。
- ③ 特に、若手職員への研修を充実させる。

6. 地域支援機能の充実

- ① 登下校時の清掃活動や挨拶をしっかりと継続していく。
- ② 園内研修や行事への参加を地域に呼びかける。
- ③ 子育て相談等を実施する中で、地域ニーズを把握していく。

3. 職員構成

(令和5年4月1日)

職種	施設長	児童ホーム長	副園長	児童指導員	保育士	個別対応	家庭支援	里親支援	自立支援	心理療法	栄養士	調理員	事務員	嘱託医	合計
男	1	1	1	4		1		1						1 (1)	10 (1)
女				8	12 (2)		1		1	1	2	4 (2)	2		31 (4)
合計	1	1	1	12	12 (2)	1	1	1	1	1	2	4 (2)	2	1 (1)	41 (5)

※ () 内は非常勤職員を再掲

4. 児童構成

(令和5年4月1日)

	日中保育		こども園		小学生						中学生			高校生			高卒	合計
	2歳	3歳	年少	年長	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男	1	0	0	1	1	2	0	2	3	1	0	3	2	1	2	2	0	21
女	0	0	0	3	3	0	1	2	2	1	1	4	1	2	1	2	2	25
小計	1	0	0	4	4	2	1	4	5	2	1	7	3	3	3	4	2	46
合計	1		4		18						11			10			2	

【本園】 + 【地域小規模児童養護施設】 定員57

